

## 人格的自律と自己統制の方針

川瀬和也(宮崎公立大学)

人格的自律(personal autonomy)や自律的行為者性の説明において、「自己統制の方針(self-governing policy)」が重要な役割を果たすと指摘されることがある。

「自己統制の方針」の概念は、マイケル・ブラットマンによって、行為者性の問題を自然主義的に解決しようとする心的態度として導入された(Bratman 2000)。ブラットマンは反省的で、計画に似た、時間的な幅をもった態度としての自己統制の方針の概念に訴えることで、行為者性の問題を解決できると主張した。彼によれば、この三つの特徴を備えた心的態度の存在に訴えれば、ドナルド・デイヴィッドソンによる行為者性の説明に対してしばしば指摘される行為者不在問題を回避することができる。同時に、ロデリック・チザムがしたように、行為者という神秘的な存在者を導入する必要もなくなる。

ブラットマンによれば、自己統制の方針の概念に訴えることで、行為者不在問題を解決する形で行為者性を自然主義的に説明できるだけでなく、ハリー・フランクファートの階層モデル的な自律論が抱える問題点を解決し、モデルを改良することもできる。フランクファートは、高階の欲求に訴えることで自由意志や人格の概念について説明しようとした(Frankfurt 1971)。このフランクファートのモデルは、一方では両立論的な自由意志論として自由意志の形而上学において受容されたが、同時に、人格的自律を説明するためのモデルとしても広く議論を喚起してきた。フランクファートのモデルを自律の説明に用いる際にしばしば指摘される問題に、高階の欲求はそれ自体欲求であることから、 $n$ 階の欲求に従うことが自律的だと言えるか否かが本性上問題になりえ、それゆえに無限後退に陥りかねない、というものがある。ブラットマンが提唱した自己統制の方針の概念は、それ自体は欲求ではなく、かつ欲求を対象として取る形で自律的なものにするような高階の態度であるため、無限後退の問題を解決へと導きうる概念でもあるとされる(J. S. Taylor, 2008)。

この自己統制の方針の概念は、自律についてのよりきめ細かな説明を可能にするスージー・キルミスターの「自己統制の四次元説」において、重要な拡張を施されている(Killmister, 2018)。ブラットマンにおいては、自己統制の方針は第一義的には行為者性を説明する概念であり、意図の形成や行為に関わるものであった。これに対して、キルミスターの拡張された自己統制の方針は、信念、計画、価値付けにまたがる「自己定義的態度」を対象に取り、その形成の仕方に関する規則を制定するような態度である。

本発表では、ブラットマンとキルミスターそれぞれの理論の枠組みと、「自己統制の方針」概念の用法を整理した上で、「自己統制の方針」の概念が自律の説明にとって持つ意義を明らかにすることを目指す。

キルミスターが自己統制の方針の概念を拡張しつつ自分の理論に取り込もうとするとき、ブラットマンが構築しようとした自律的行為者性の自然主義的理論や、ブラットマンが前提とする人格の「ロック的同一性」の理論は十分考慮に入れられていないように思われる。したがって、キルミスターは自己統制の方針の概念をブラットマンに由来するものだとしてはいるものの、その内実は換骨奪胎されているようにも思われる。本稿では換骨奪胎そのものが問題であるという立場は取らないが、概念内容の変更

が十分な説明なしになされているため、キルミスターの考える自己統制の方針がどのようなものであるのかがわかりにくくなっていることは問題であるように思われる。

このような問題意識に基づき、本発表では、まずはブラットマンにおける自己統制の方針がどのような内実と役割を持っていたかを確認する。加えて、キルミスターの拡張された自己統制の方針がどのような内実と役割を持つ概念であるのかを明らかにする。ブラットマンについては自己統制の方針と行為者性の関係、キルミスターについては自己統制の方針と自己定義的態度の関係を整理することで、それぞれの議論において自己統制の方針の概念が果たす役割を明確にしたい。

この作業を通して、「自己統制の方針」という概念が持つポテンシャルについて考えたい。その際、この概念が行為者性や人格的自律、人格的同一性、あるいは実践的アイデンティティにとってどのような含意を持ちうるかが重要な観点となるはずである。

### 参考文献

- Bratman, Michael E. 2000. "Reflection, Planning, and Temporally Extended Agency," in: Michael E. Bratman, *Structures of Agency: Essays*, Oxford University Press, 2007, pp. 21-46
- Frankfurt, Harry G. 1971. "Freedom of the Will and the Concept of a Person," in: Harry G. Frankfurt, *The Importance of What We Care about*, Cambridge University Press, 1998, pp. 11-25.
- Killmister, Suzy. 2018. *Taking the Measure of Autonomy: A Four-Dimensional Theory of Self-Governance*, Routledge.
- Taylor, James Stacey. 2005a. "Introduction," in: James Stacey Taylor, *Personal Autonomy: New Essays on Personal Autonomy and Its Role in Contemporary Moral Philosophy*, Cambridge University Press. 2005, pp. 1-29.